

中小・中堅事業者のための拡張的ロボット工場受託プログラム

・法人名

株式会社テクノ二十一グループ

・面的支援プログラムの概要

ロボット導入の阻害原因となっている4つの課題（費用・スペース・応用性・人材）を、「無人化工場の提供(シェアリング)」によって全て解消し、ものづくり現場のロボット化及びDX化を促進するサービス。

・プログラム実施場所

鹿児島県霧島市溝辺町竹子610番地

・プログラム実施期間

令和2年10月～令和3年12月

・補助事業実施期間における支援先の募集 **有** ・ 無

→お申し込み先 担当：代表取締役 上村照樹

電話：0564-27-7121

E-Mail：kamimura@techno21gr.com

※有の場合、以下を記載

・支援先の募集期限 令和3年5月末日

・支援先の募集社数 以下の要件を満たす30者

・支援先の要件 生産性向上、現場効率化及び省人化を図るためにロボット導入を考えている中小製造事業者（小規模事業者を除く）。

○面的支援プログラムの内容



■ロボット工場受託サービスの流れ

◆1.概要説明・提案	◆2.受託	◆3.無人化工場の設計	◆4.ラインテスト開始
			
現在顧客が行っている製品の組立方法・工数・コストをもとに、ロボット工場を活用して双方にどれくらいメリットがあるのかを算定し提案する。	双方のメリットを確認したのち、顧客製品の組立を受託する。	各組立工程で必要な付帯装置を設計し、ラインを完成させる。	当社のロボット工場で実際の製品の組立を行い、製品の品質、生産性の評価を行う。
◆5.量産開始	◆6.納品	<リモート監視システム>	
			
ロボット工場を本稼働させて、製品組立を行う。	完成した製品を顧客に納品する。	工場にはカメラが設置されており、デスクにいながら現場の状況を確認できる環境が構築されている。顧客(支援企業)の生産も同様に監視できる。	